

伊賀市長 岡本 栄 様

伊賀市議会議長 市川 岳人

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う要請について

新型コロナウイルス感染症が市内で急速な拡大を受け、自宅待機や自宅療養をされている濃厚接触や感染者等（以下「感染者等」という。）が急増していること及びワクチン接種のできない子どもたちへの感染拡大は大変危惧される所です。

このような中、市職員の皆様におかれては、昼夜問わず感染者等への対応に奔走されていることに感謝申し上げます。

さて、本市議会は、9月1日に市議会災害対策会議を開催し、今後の新型コロナウイルス感染症への対応にあたり、早急に取り組んでいただきたい事項等をまとめましたので、下記のとおり要請いたします。

記

- 1 感染者等への支援として、伊賀市社会福祉協議会が行っている「おたがいさま便」事業に対し、支援物資や配送体制が充実するよう支援していくこと。
- 2 感染者等が待機や療養ができるよう、市内の宿泊施設等を活用した療養施設の設置について速やかに検討すること。
- 3 上記1及び2を実施するにあたっては、「三重とこわか国体・三重とこわか大会」が中止となり影響を受けている飲食店及び宿泊施設等の活用を検討していくと共に、必要な財源措置を行うこと。
- 4 小中学校におけるオンライン授業を確実に軌道に乗せ、授業に遅れが生じないように努めること。
- 5 ワクチン接種について、接種対象者別に接種方法や受付状況についての詳細な情報を議会及び市民へ随時わかりやすく示していくこと。

- 6 定例で報告のあるワクチン接種状況に加え、新型コロナウイルス感染症に関する各種情報の報告を求める。また、併せて市民にも必要な情報を速やかに提供していくこと。
- 7 新型コロナウイルス感染症対策及び議会や市民への情報提供にあたっては、一部の部署だけに負担がかかることがないように、職員の配置や業務分担について検討し、市民の生命を守ることを最優先に職員一丸となって対応いただきたい。